# 11月は児童虐待防止推進月間

## 未来を担う子どもたちのために…

**児童虐待から子どもたちを守るためには早期発見が大切です。**

**皆さんからの相談や通告（連絡すること）が問題解決の一歩につながります。**

市に寄せられる児童虐待に関する相談は、年々増加傾向にあります。これは、児童虐待に対しての関心が高まってきた結果とも取れますが、一方で、児童虐待が、すでに広く社会の中に潜在化してしまっているとも考えられます。

毎年、11月は児童虐待防止推進月間となっています。児童虐待のこと、子育てのことを、もう一度考えてみませんか。

### ❖児童虐待って何？

児童虐待とは、保護者（親権を行う者、未成年後見人など）がその監護する児童（18歳に満たない者）に対して、次のような行為を行うことをいいます。

**◎身体的虐待**

児童の身体に外傷が生じたり、生じるおそれのある暴行を加えること。

**◎性的虐待**

児童にわいせつな行為をすること、または、児童にわいせつな行為をさせること。

**◎ネグレクト（養育の拒否または怠慢）**

児童の心身の正常な発達を妨げるような著しい減食や長時間の放置、保護者以外の同居人による虐待の放置、そのほか保護者としての監護を著しく怠ること。

**◎心理的虐待**

児童に対する著しい暴言や著しく拒絶的な反応、児童が同居する家庭の配偶者に対する暴力、そのほか児童に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。

### ❖児童虐待を発見したら…

虐待を受けたと思われる児童を発見したときは、すぐに、市や児童相談所に通告しなければなりません。これは、児童虐待防止法第6条および児童福祉法第25条に定められた、わたしたち一人一人の義務です。

通告は、虐待している人を処罰することではなく、その家庭に支援の手を差しのべ、子どもや家庭を救うことです。虐待だと確信できなくても、おかしいと気づいたら、市や児童相談所に必ず通告してください。なお、通告した方が特定されることはありません。

### ❖どこに相談したらいいの？

「自分だけが子育てをうまくできていない」「助けてくれる人がいない」「この子がいなければ」などと思ってしまうことはありませんか？

虐待は、子育てへの不安から始まることがあります。それは決して特別なことではありません。一人で悩まないで、「子どもと親の相談室」までご相談ください。秘密は必ず守られます。お子さんのことや子育てのこと、ご自身のことを一緒に考えていきましょう。

### ❖児童虐待防止セミナーに参加を

市では、児童虐待防止推進月間に合わせ、講演会を中心とした児童虐待防止セミナーを開催します。児童虐待問題について考える良い機会ですので、ぜひご参加ください。

**と　き**　11月26日（水）
午後2時～4時

**ところ**　中央公民館 中ホール

**内　容**
○児童虐待防止について考える
○子どもの虐待の発見と対応～健やかな発育・発達を守るために～

**講　師**　福田冬季子（ふくだときこ）氏（自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科学講師、虐待対策委員）

**参加料**　無料

**子育て・児童虐待など各種相談**
**この記事に関してくわしくは**
子どもと親の相談室（今市中学校向かい）　☎(30)7830（ナヤミゼロ）
※電話相談は毎日24時間対応
※窓口相談は月曜日～金曜日
（祝日・年末年始を除く）
午前8時30分～午後5時30分



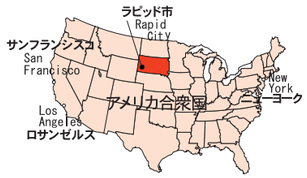
# 中高生の姉妹都市相互交流事業

姉妹都市であるラピッド市と中学生・高校生の相互交流や公式訪問団の相互派遣などにより、友好を深めています。

今回は、7月～8月に行った中高生の相互交流事業を紹介します。

### ラピッド市って、どんな所？

日光市の姉妹都市であるラピッド市は、アメリカ合衆国サウスダコタ州西部にある人口約6万人の都市です。旧今市市と平成6年から友好交流が続いており、昨年10月には、市の訪問団がラピッド市を訪れ、改めて姉妹都市を締結しました。さらなる友好関係を築くため、中高生の相互交流や公式訪問団の相互派遣を毎年実施しています。




### 市内中高生のラピッド市訪問

7月21日（月・祝）～8月1日（金）の12日間、市内の中高校生19名がラピッド市を訪れました。滞在中はホームステイをしながら、ラピッド市の中高生と一緒に、有名なマウント・ラッシュモアや空軍基地などを見学したり、ネイティブ・アメリカン（先住民）の生活や文化を学んだりとさまざまな体験をしました。言葉や習慣の違いに戸惑いながらも、ホームステイ先のホストファミリーや、ラピッド市の中高生とジェスチャーを交えながら楽しく会話をしていました。そして、多くの思い出を胸に、ラピッド市の中高生13名、付き添い者2名と共に帰国しました。

### ラピッド市中高生の受け入れ

8月1日（金）～13日（水）の日程で、ラピッド市の中高生を受け入れました。ラピッド市の中高生は、ボランティアのホストファミリー宅にホームステイをし、ラピッド市を訪問した中高生と一緒に、二社一寺や足尾銅山の見学、今市高校の生徒との交流、日光彫などを体験しました。

### 相互交流を終えて

相互交流を体験した市内の中高生からは「ラピッド市の大学に留学できるように頑張る」「英語を使う職業に就きたい」といった感想が多く聞かれました。中高生にとって、将来の目標につながる貴重な経験ができました。

**くわしくは**
生涯学習課 国際交流係　☎(21)5182

### ラピッド市へ行って学んだこと

**大沢中学校2年　田中千晴（たなかちはる）**

私がこの事業に参加した理由は、生きた英語を学び、将来に生かすことが出来ればと思ったからでした。

長いフライトの後、ようやくラピッド市に着きました。空港ではホストファミリーの方々の優しい歓迎を受けました。しかし、10日間もお世話になるのに、私の英語が通じるのか、本物の英語を理解できるのか、大きな不安もありました。でも、日がたつにつれ、間違いを恐れて会話をしないより、細かい事を気にせずどんどん会話をした方が良いということが分かりました。

今回の事業では、アメリカの人々の国境を越えた優しさ、そして素晴らしい文化、自然、たくさんの名所など、いろいろな事を学ばせていただきました。